

平成25年度施設管理に対する評価シート

◎基本情報

管理施設

①施設名	大阪市立生涯学習センター
②指定管理者名	大阪市教育振興公社・SPS 共同事業体
③評価対象期間	平成25年4月1日 ～ 平成26年3月31日
④指定期間	平成22年4月1日 ～ 平成26年3月31日
⑤所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当 (電話：06-6208-9085)

管理運営業務等の概要

① 業務概要	全市的な生涯学習推進の「中核施設」としての機能を果たす総合生涯学習センターと他の4つの市民学習センターが、5つの「拠点施設」として有機的に連携することにより、5館一体となって、市内24の「区域」及び297の「小学校区」の学習圏での学習活動を支援するほか、貸室事業、施設の総合管理に関すること、建物及び付属設備の維持保全業務等を実施。																																							
②利用状況の概要	平成25年度の利用率・利用人数 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">利用率(%)</th><th colspan="2">部屋利用人数(人)</th></tr><tr><th>H24</th><th>H25</th><th>H24</th><th>H25</th></tr><tr><td>総 合</td><td>90.1</td><td>89.6</td><td>234,469</td><td>230,148</td></tr><tr><td>弁天町</td><td>68.2</td><td>66.4</td><td>150,629</td><td>148,363</td></tr><tr><td>阿倍野</td><td>77.2</td><td>78.0</td><td>189,756</td><td>195,452</td></tr><tr><td>難 波</td><td>83.2</td><td>79.2</td><td>207,020</td><td>197,280</td></tr><tr><td>城 北</td><td>55.9</td><td>54.4</td><td>123,405</td><td>106,748</td></tr><tr><td>平 均</td><td>74.9</td><td>73.5</td><td>181,056</td><td>175,598</td></tr></table> 平成25年度の来館者数 1,068,071人		利用率(%)		部屋利用人数(人)		H24	H25	H24	H25	総 合	90.1	89.6	234,469	230,148	弁天町	68.2	66.4	150,629	148,363	阿倍野	77.2	78.0	189,756	195,452	難 波	83.2	79.2	207,020	197,280	城 北	55.9	54.4	123,405	106,748	平 均	74.9	73.5	181,056	175,598
	利用率(%)		部屋利用人数(人)																																					
	H24	H25	H24	H25																																				
総 合	90.1	89.6	234,469	230,148																																				
弁天町	68.2	66.4	150,629	148,363																																				
阿倍野	77.2	78.0	189,756	195,452																																				
難 波	83.2	79.2	207,020	197,280																																				
城 北	55.9	54.4	123,405	106,748																																				
平 均	74.9	73.5	181,056	175,598																																				

◎管理運営の実施状況

1 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

①施設の管理運営状況(管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況)	設備維持管理の状況、職員の体制、危機管理・安全管理など、施設の管理運営状況は仕様のレベルを十分に満たしている。
②事業計画の実施状況(計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況)	・現代的課題や地域の課題をテーマとする事業を定期的実施することで、地域住民の利用が定着してきており、地域のコミュニティづくりにも寄与している。 ・地域協働・市民協働事業を実施するとともに、生涯学習ルーム作品展・体験教室を実施し、地域の生涯学習支援の充実化を図った。 ・大阪市高齢者大学「いちよう大学」に、「まちづくりとボランティアコース」を新設し、学習の成果を社会に還元する学習機会を提供することができた。 ・独自事業として、利用グループの活動用備品が保管できるロッカーやコピー機・紙折機等の設置など、市民の生涯学習活動支援のための場の整備を行っている。 ・施設広報誌の新聞折込や区役所ホームページへのバナー広告の

	掲載などの広報活動や、新規利用グループの開拓や継続的なグループ利用の拡充を目的とした事業の展開を図るほか、年間を通じて利用率の低調な部屋・時間帯の利用促進に取り組んでいる。 ・貸室利用者及び事業参加者を対象にアンケートを実施し、そこから得られた利用者のニーズや地域性を事業の企画に反映させている。また、意見箱を設置し、そこで得た意見・要望・苦情等について、職員会議で共有し、改善に役立てるなど、利用者の意向を把握し、課題解決に向けた取り組みを行っている。 ・自主事業においても、趣味・教養だけではなく、現代的・社会的課題を捉えた、人材育成・地域貢献に資する事業を展開している。
③施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・NPOとの協働状況等）	・利用グループと連携した市民向け講座の実施や、新たにグループを立ち上げて、教えたい人を対象とした教室開設支援講座など、「個人の学習成果を社会に還元する」取り組みを意欲的にを行い、市民の多様な学習ニーズに対応している。 ・市民グループ・NPOに対して、運営支援（ネットワーク・ラボ、ネットワークサロン）、助成（NPO・市民活動企画支援事業）等を行うことで、市民協働を総合的に推進している。 ・各小学校区における生涯学習ルーム事業と連携した事業の実施や生涯学習推進員との協働など、教育コミュニティ支援の観点から地域との連携を丁寧に進めて、区役所や地域との良好な関係を築いている。

2 市費の縮減効果（収支状況）

① 収入・支出状況	収入 484,704,906円（内業務代行料 225,863,128円） 支出 484,704,906円
②市費縮減に係る取り組み状況	人件費の抑制、事業の効率化による経費節減や、スケールメリットを生かした共同購入・共同入札の実施などを通して、歳出の縮減に努めている。

3 社会的責任・市の施策との整合等

環境への配慮、就職困難者の雇用への取り組み、個人情報保護に関する取り組み等の実施状況	・障がい者の雇用状況については、法定雇用者数を十分に満たしている。 ・個人情報保護規程を策定し、適切に取り扱っている。 ・人権研修や、接遇研修を適切に実施している。
--	--

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

① 評価項目概要	(1)施設の設置目的や「生涯学習大阪計画」をふまえた、全市的な生涯学習支援の拠点機能を果たすための事業の実施
②上記についての成果や望まれる対応等	(1)上記を実現するために、多様な事業に取り組んだ。 ○情報収集・提供と学習相談 学習相談 【相談件数 32,579件】 ○現代的・社会的課題に関する学習機会の提供 市政課題に関する講座や、本市の各部局と連携した出前講座を実施 【大阪市出前講座 実施件数 128件】 ○人材養成・研修 生涯学習推進員養成講座・3年次研修 【修了者数 292人】

	識字・日本語交流ボランティア入門講座・研修 【受講者数 586人】 生涯学習インストラクターバンク 【登録者数 472人】 ○教育コミュニティ支援 各小学校区の生涯学習ルーム事業やはぐくみネット事業に対する支援（各種研修や交流機会の提供、活動紹介等） ○企画開発 モデル事例集（NPO・市民活動企画助成事業報告書）の発行
--	---

◎評価

1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

① 施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成25年度の施設利用率（5館平均）については73.5%となっているが、市政改革プランによる施設廃止方針の影響を鑑みれば、前年度より微減とはいえ、高水準を維持している。貸室利用者アンケートについては、施設利用満足度「満足（77.0%）」「おおむね満足（22.2%）」の回答が99.2%であり、職員の対応については「良い（80.5%）」「おおむね良い（16.8%）」の回答が97.3%となっている。事業参加者アンケートにおいては「たいへんよかった（59.8%）」「よかった（33.3%）」の回答が約93.1%であった。よって、施設の利用状況も活発であり、安定的なサービスが提供されている。	A
② 市費の縮減効果に対する評価	経費の縮減に取り組んでおり、管理代行料については現在の指定管理期間の初年度である平成22年度より縮減（約2.1%）している。	B
③ 社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報の保護など、社会的責任・市の施策と合致している。	B
④ 総合評価	安定的な利用者サービス、市費の縮減が計画どおり達成されている。	B

2 外部専門家等の意見

・市政改革プランに基づく施設廃止方針が出された中でも、施設利用率（5館平均）は73.5%と高水準を維持し、施設利用満足度についても非常に高い。この点は、これまでの実績の積み上げによるものと高く評価できる。 ・施設廃止方針の影響と思われる利用率の低下による利用料収入減少という厳しい状況の中でも、市費の縮減を達成している点は、高い経営努力によるものと評価できる。 ・今後も、限られた財政的・人的資源を活用しながら、これまで重点的に取り組まれてきた人材育成や市民団体・NPO等との連携をさらに進め、人的ネットワークや教育コミュニティづくりの支援に関して一層の充実を図ることが、地域社会における住民同士のつながりを築き、市民主体の生涯学習を推進する上で非常に重要である。 ・大阪市の識字・日本語施策に代表される社会教育の取り組みは全国的にも特筆すべきものである。特に貧困問題の深刻化や社会のグローバル化が進む大阪市のような大都市圏において、識字・日本語活動の果たす役割は極めて大きい。また、学校教育を支える観点からも生涯学習の取り組みは不可欠であり、学習機会のアウトリーチなどの社会福祉的な観点と合わせて、公的な社会教育事業の実施機関としての生涯学習センターの役割は、今後もますます高まるものと思われる。
--

3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成25年度の施設利用率（5館平均）については73.5%となっているが、市政改革プランによる施設廃止方針の影響を鑑みれば、前年度より微減とはいえ、高水準を維持している。貸室利用者アンケートについては、施設利用満足度に関して、「満足（77.0%）」「おおむね満足（22.2%）」の回答を合わせて99.2%となっている。職員の対応については「良い（80.5%）」「おおむね良い（16.8%）」の回答を合わせて97.3%となっている。事業参加者アンケートにおいては「たいへんよかった（59.8%）」「よかった（33.3%）」の回答を合わせて約93.1%であった。よって、施設の利用状況も活発であり、利用者にとって非常に満足度の高いサービスが安定的に提供されているといえる。	A
②市費の縮減効果に対する評価	継続的に経費の縮減に取り組んでおり、管理代行料については現在の指定管理期間の初年度である平成22年度より縮減（約2.1%）している。きわめて厳しい財政状況の中で、毎年着実に経費の縮減を図っている経営努力については高く評価できる。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	個人情報保護など、社会的責任・市の施策と合致している	B
④総合評価	施設の設置目的および「生涯学習大阪計画」を踏まえた多様な事業を実施しており、本市における生涯学習拠点施設としての役割を果たしている。利用率・市民満足度も高水準を維持しており、生涯学習活動支援の視点に立った多角的かつ安定的な利用者サービスが行われている。厳しい財政・限られた人的体制の中で、市費の縮減も一定認められ、おおむね事業計画どおりの効果が得られている。今後も、引き続き人材養成や市民等との連携・協働を進めるとともに、公的社会教育の役割を十分に果たし、まちづくりにつながる市民主体の生涯学習が推進されるよう、効果的な施設運営を担っていくことが期待される。	B

評価の基準

- S…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
- A…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
- B…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
- C…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない